

製品名: c-Fos (8R6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08706**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	FOS
別名	activator protein 1; AP-1; C-FOS; FOS; G0S7;
遺伝子 ID	2353.0
SwissProt ID	P01100
免疫原	ヒト c-Fos の組み換えタンパク質

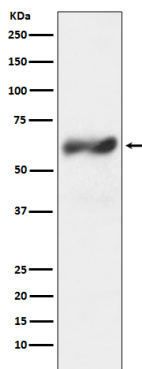
背景

FosはbZIPファミリーのプロトオンコゲン転写因子です。JUNファミリーのタンパク質と二量体を形成し、転写因子複合体AP-1を形成します。FOSタンパク質は、細胞増殖、分化、および形質転換の調節因子として機能します。場合によっては、FOSの発現はアポトーシス細胞死とも関連付けられています。発現は、成長因子、サイトカイン、神経伝達物質、ポリペプチドホルモン、ストレス、細胞傷害など、さまざまな刺激によって増加します。JUN/AP-1転写因子と強固に、しかし非共有結合的に結合した複合体を形成する核リンタンパク質です。ヘテロ二量体において、FOSおよびJUN/AP-1基本領域はそれぞれ、対称的なDNA半分の部位と相互作用するようです。TGF- β が活性化されると、AP1/SMAD結合部位で多量体SMAD3/SMAD4/JUN/FOS複合体を形成し、TGF- β を介したシグナル伝達を制御します。骨格の形成と維持を担う細胞の発生を制御する上で極めて重要な機能を有する。シグナル伝達、細胞増殖、分化において重要な役割を担うと考えられている。増殖中の細胞では、CDS1およびPI4K2Aを活性化することにより、リン脂質合成を活性化すると考えられる。この活性には、チロシン脱リン酸化と小胞体との会合が必要である。

研究分野

神経科学

画像データ



TPA処理したHeLa細胞溶解物におけるc-Fos発現のウェスタンブロット分析。